



企業法務系弁護士の可能性は如何に
～データや経験を通してみえる魅力や将来性を共に考える～

開催日時：2024年5月31日（金）17：00～18：30（予定）
場所：豊中総合学館6階L7教室

皆さんは就職活動において如何なる軸を持って、どのように情報を収集・評価し、自らの進路の意思決定が出来ているでしょうか。

本講演では、皆さんがキャリアに関してより良い意思決定をするための武器をお渡しします。企業法務の実務やキャリアは目に見えにくい部分が多いです。その全体像を明確にするにはデータと経験の両者が必要不可欠です。今回は、大阪大学法科大学院OBの企業法務系弁護士の方を2名お招きし、企業法務革新基盤のコンサルタントとの対談形式で実務とキャリアについて語っていただくとともに、弁護士人材マーケットデータを基にキャリアパスの在り方を議論いたします。その結果、皆さんが自分の在りたい姿を思い描いたうえで客観的にキャリアパスを評価・構想し、そのキャリアパス実現のためのアクションプランを設計する契機とすることを目指します。

プログラム

1. 企業法務系法律事務所の弁護士との対談から見える企業法務の魅力
2. マーケットデータから考える企業法務領域のキャリアパスの在り方
3. 質疑応答

登壇者

尾形 優造

弁護士法人大江橋法律事務所所属の弁護士・カリフォルニア州弁護士。
2013年に大阪大学大学院高等司法研究科修了、2014年に弁護士登録（修習67期）、その後約4年半の実務経験を経て米国留学、2021年にカリフォルニア州弁護士登録。
主な取扱分野は、会社法（コーポレートガバナンス、株主総会対応、M&A等）、独占禁止法（当局調査対応、企業結合審査対応等）、危機管理（企業不祥事対応等）及び訴訟（会社訴訟、株主代表訴訟、行政訴訟等）だが、これに限らず幅広い分野を経験している。



山口 聡子

弁護士法人淀屋橋・山上合同 弁護士（2019年弁護士登録、修習期72期）。
大阪大学知的基盤総合センター特任研究員、大阪大学共創機構顧問。大阪大学大学院国際公共政策学科招へい教員。大阪大学法学部法学科卒業、大阪大学高等司法研究科修了（未修）。
訴訟・紛争、M&A、渉外事件対応、スタートアップ支援などの業務を中心に、一般民事事件から企業法務全般を幅広く取り扱う。帰国子女である経験も活かし、執筆やセミナー（ジェトロ大阪本部「英文契約の基礎と実務」、大阪府中小企業診断協会「弁護士は見た！海外取引の落とし穴！」他）も行う。



倉持 勇汰

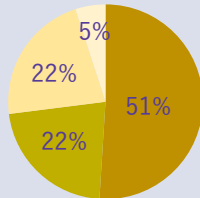
企業法務革新基盤株式会社コンサルタント。筑波大学附属駒場高等学校、東京大学法学部卒業。企業法務系法律事務所の機能性向上のための組織改革、企業における法務部門のプレゼンス向上への支援に取り組む。法律事務所、企業法務部の組織改革や制度設計についてのコンサルティング経験を持つ。



企業法務革新基盤とは

京都大学客員准教授の故瀧本哲史と野村慧により創業。弊社は「人」「情報」「組織」の三要素を支えることをMissionとし、日本で唯一、企業法務分野に特化してエージェントサービスと組織コンサルティングサービスを組み合わせて提供する。加えて弊社独自データに基づくリーガルマーケットリサーチ業務も行う。エージェント業務では、コンサルタントの深い知見と妥協のない徹底したヒアリング、さらに豊富な独自データに基づき、単なる転職支援に留まらない人生設計までご支援する。かかるテララーメードなキャリア設計支援にはハイレベルな弁護士の皆様から厚い信頼を賜る(右図)。
弊社HPにて様々な論考を掲載。日経等メディアにも出演している。

弁護士有資格者の登録者属性
(2021/9~12)



■ 4大・準大手・外資系法律事務所
■ 中規模法律事務所
■ 事業会社
■ 一般民事系法律事務所

五大商社への弁護士転職者
における弊社占有率
(2022/4~2023/3)

